

令和6年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	2 2 2	学校名	仙台市立台原中学校	校長名	長沼 洋美
------	-------	-----	-----------	-----	-------

1 取組のタイトル、テーマ

【力を合わせて緑を守ろう！】



2 取組の紹介

- ① 前年度の緑化委員会の仕事（花への水遣りや花壇の草取り等）を、今年度の緑化委員会が引継ぎました。当番になった週に2回程度、自分の学年の花壇にじょうろを使って水遣りをします。1学期は修学旅行や野活などの行事があり、人手が足りない時期もありましたが、委員が協力し合い、きれいな花壇を維持することができました。1学期の委員会の反省で、「水遣り当番表」がうまく回らないことがあったという反省が出ました。そこで、2学期はChromebookを使用して、週初めに担当教師から当番クラスへの連絡を行うようにしたところ、当番の確認もスムーズにできるようになりました。委員会でも情報伝達の部分でアナログからデジタルへ移行しています。
- ② 花壇の植え替えでは、日程が緑化委員会のスケジュールと合わなかったため、けやき作業所のガーデン班に依頼しました。けやき作業所は、特別支援学級が作業学習を行う際に用いる名称で、物作り班や清掃班、リサイクル班など複数の班があります。花の植え替えは、初めての作業でしたが、担当教師の指示をしっかりと聞いて、花の配色を考えながら色鮮やかな花壇にすることができました。少ない作業時間の中でしたが、班のメンバーで協力してやり遂げました。ガーデン班は植え替え以外でも、通年で水遣り補助や花壇の雑草取りなどを行いました。支援学級の教師や支援員の中に、畑や花壇作業の知識が豊富な人材がいて、けやき作業所ガーデン班の立ち上げは、生徒だけでなく若手教師への知識・技能伝達の間にもなっていました。



3 取組の成果

緑化委員会の水遣りなどの仕事は、例年行っていることもありスムーズにできていました。前年度も緑化委員を経験している生徒がいて、経験者が初回の委員会で前年度の様子を伝えることで、他の生徒も見通しを持つことができたようです。自分たちで課題点（水遣り当番表の回し方）を出して解決策を考えることができたのもすばらしかったです。今年度はChromebookを使つての試験的な取組だったので、担当の教師から連絡していましたが、次年度は委員長から連絡するなど、より自主的な活動へ導いていきたいと考えています。

昨年度はけやき学級の作業学習に花壇整備はありませんでしたが、畑作業を経験していることもあり、水遣りや雑草取り、花の植え替えなど、とても上手に作業することができていました。特に花の植え替えは、成果が視覚的に分かりやすく、作業終了時にはとても満足した表情を浮かべていました。来年度もガーデン班は継続していきたいです。

今年度は緑化委員会、けやき作業所の2つの団体で花壇整備を行い、それぞれの生徒が緑を守るために自分の役割を果たすことができたことが成果と考えられます。委員会生徒には、「花の植え替えや雑草取りをけやき作業所で行う」ことを伝えることはありましたが、直接的に交流する機会は設定できませんでした。次年度は委員会とけやき作業所がお互いの取組を知り、時には花壇を通して直接交流できる場を設けていきたいと考えています。